

『絵本ひろば』を開催します！！

日にち：9/1（土）～9/9（日）

※9/3（月）は休館

時間：平日 10:00～16:00

土日 10:00～17:00

※9/9（日）は16:00まで

会場：ユメニティのおがた小ホール

図書館よりもっと自由に絵本を楽しめる“絵本ひろば”を開催します。人気の絵本のほかに、しかけ絵本などの遊べる絵本や、大人のための絵本コーナーも！

週末にはコンサートやおはなし会、ワークワークショップなどイベントもたくさん！くわしくは絵本ひろばのチラシまたは図書館のホームページをご覧ください。

◆展示のお知らせ◆

8/30(木)～10/30(火)

*一般展示コーナー

「秋満喫！！行楽特集」

*児童展示コーナー

「みんなでアスリート

～スポーツの秋～」

◆認知症カフェ図書館◆

日時：9/8(土)14:30～15:30

※申込制 時間厳守

会場：図書館 2階会議室

内容：「ファイブ・コグ検査」

脳の5つの機能について検査を行い、検査結果を後日ご本人へ郵送します。お気軽にご参加ください。

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

は おやすみです

※太字は17時閉館です

図書館イベント案内

9月

- ★1（土）～9（日） 絵本ひろば
- ◆8（土）14:30～ 認知症カフェ図書館「ファイブ・コグ検査」
※申込制（定員15名程度）
- 11（火）11:00～ 乳幼児向けおはなし会（麦のこ）
- 16（日）14:00～ おはなし会（れろの会）
- 22（土）11:00～ 大人向けおはなし会（まほうの箱）
- 23（日）14:30～ おはなし会（図書館職員）
- 28（金）10:00～ N-biz 経営相談会
- ★29（土）11:00～ ブラックパネルシアター（なのはな教室）
- ◆30（日）10:00～ おもちゃ病院 ※受付13:00まで

10月

- 6（土） 図書館歴史さんぽ ※申込制（定員15名程度）
- 9（火） 11:00～ 乳幼児向けおはなし会（麦のこ）
- 13（土）14:30～ おはなし会（赤ずきん）
- 20（土）14:00～ おはなし会（やまびこ会）
- 26（金）10:00～ N-biz 経営相談会
- 28（日）14:30～ おはなし会（図書館職員）
（会場について）

★ユメニティのおがた小ホール ◆図書館2階会議室

●図書館対面朗読室 その他は図書館おはなしコーナー

毎月決められるテーマをもとに、職員が本を紹介します。今月のテーマは『味覚』。

「おいしくたべる」

松本伸子：監修 (K498ア)

子どもの頃は苦手な食べ物が多く、ご飯の時間が苦痛な日もあった。どうして人それぞれ好き嫌いがあるのか、好物の唐揚げだけ食べて生きていけないか、そもそもなぜ物を食べないと生きられないのか、苦手な食べ物を前に色々考えたものだ。

本書は、材料や味、心との関係など食べることをあらゆる角度から考えた本。「おいしくたべる」手がかりがきっと見つかるはず。

(ペンネーム：ペコ)



「0～5歳 子どもの味覚の育て方」

とけいじ千絵：著 (498.5ト)

食べものが持っている特性や成分を舌で感じ取る能力・味覚。生まれた時に持っている人の味覚は「甘味・旨味・塩味＝美味しい」「苦味・酸味＝不味い」と、とてもシンプルです。しかし大人になるにつれて、ピーマン・ゴボウなどの野菜の苦味や土臭さが美味しいと感じてくるのは、味覚が様々な味を受け入れられるように経験し、学習したからです。

本書は、わかりやすい味を卒業して、大人の豊かな味覚に近づけていくことを目的とし、苦手な味を克服していけるレシピや、味覚を育てるメソッドが解説されています。

離乳食で困っているお母さんに自信を与えてくれる一冊です。

(ペンネーム：ヴィッツ)



「ときどき旅に出るカフェ」

近藤 史恵：著 (Fコ)

瑛子の元同僚が店主の、小さなカフェ。そこは、「苺のスープ」「ロシア風ツップフクーヘン」「鴛鴦茶」など珍しいものばかりで、まるで旅に出ている気分にさせてくれる。

世界のスイーツを食べながら日常の小さな事件を解決していく、甘くて切ない連作短編集。

(ペンネーム：茶白)



「レモンケーキの

独特なさびしさ」

エイミー・ベンダー：著 (933ヘ)

食べ物を食べると、それを作った人の感情がわかるようになってしまった妹と、神童ならではの生きづらさを抱え、葛藤する兄。兄妹とその家族たちの不思議な、それでいてどこかひりひりとした痛みを感じさせる物語です。

この驚きの展開を、あなたはどうか受け止めますか？きっと誰かと感想を語り合いたくなりますよ。

(ペンネーム：kao)

「せかいでさいしょの ポテトチップス」

アン・ルノー：文 (E933ル)

クラムさんのレストランは、おいしいと評判の人気店です。

ところがある日、「ポテトだけを食べた」という風変わり紳士がやってきました。クラムさんは自信たっぷりにフライド・ポテトを作りますが、紳士の口には合いません。困り果てたクラムさんは、いたずら心である料理を作ります。

おいしそうなポテトに、味覚を刺激される絵本です。

(ペンネーム：K)

「おいしさの表現辞典」

川端晶子・淵上匠子：編 (814カ)

いわゆる普通の“辞典”とは一線を画した、とてもユニークな辞典。掲載されている“おいしさ表現”は、350冊の文学作品・エッセイ及び新聞などのなかから抜粋されたもの。なかにはあの“美味しんぼ”でつかわれた表現まで！

あの料理、あの味は文学作品のなかでどのように表現されているのか？ぜひ探してみてください。

(ペンネーム：kao)

